

第六次長期計画次期アクションプログラム案（アウトライン）

1 計画の趣旨

平成 23 年 9 月に、概ね 10 年後の目指すべき愛媛の将来像やその基本的な考え方などを示した長期ビジョンを策定し、「愛のくに ^{えがお}愛顔あふれる愛媛県」という基本理念を掲げるとともに、将来像の実現に向けた 4 年間（平成 23 年度～26 年度）の政策の方向性などを示すアクションプログラムを平成 23 年 12 月に策定し、その具現化に取り組んできました。

次期アクションプログラムでは、これまでの 4 年間で、種をまき育ててきた政策を更に成長させ、結実させるための方向性を盛り込み、特に

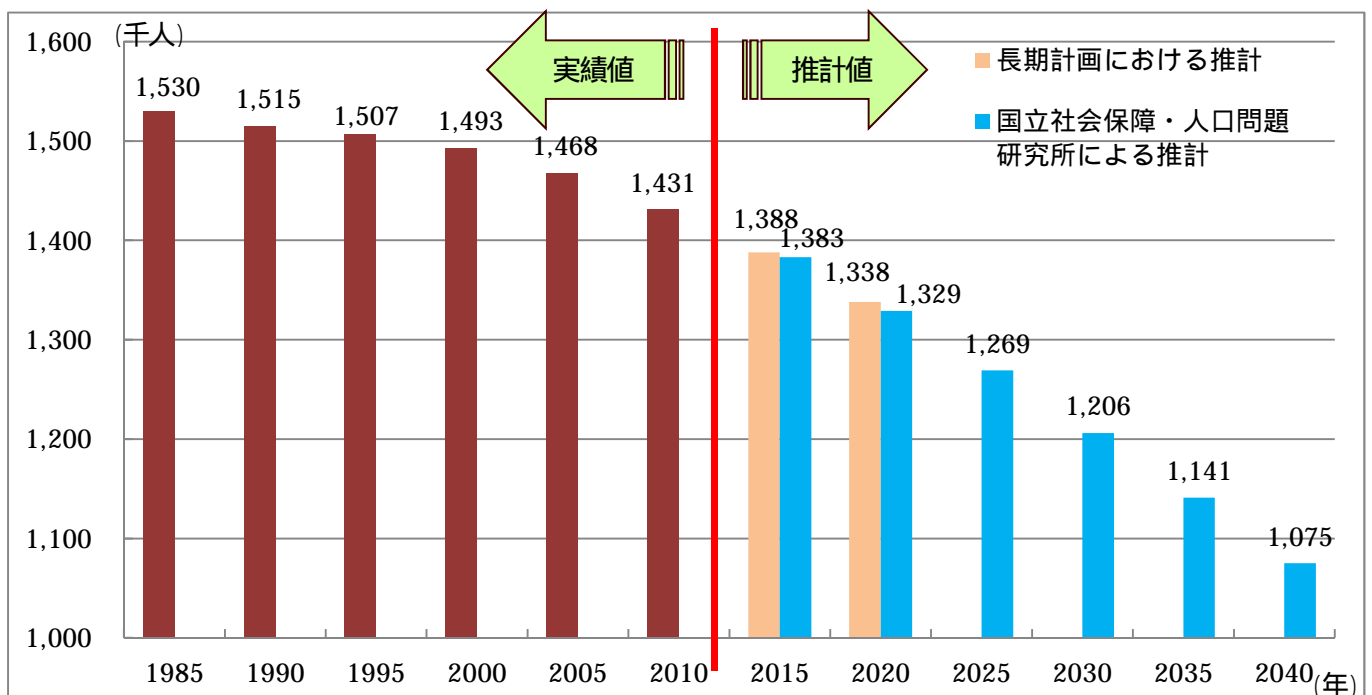
- 県民の安全・安心を守る防災・減災対策
- 少子高齢化を踏まえた人口減少対策
- 地域経済の活性化

の 3 つのテーマに重点を置き、挑戦・実行・現場主義・オール愛媛を基本姿勢として、「^{えがお}愛顔あふれる愛媛県」の実現に向けて取組みを強化します。

（今後の人口推計）

長期ビジョン策定時は平成 32 年（2020 年）の本県の総人口を 1,338 千人程度と推計しましたが、国立社会保障・人口問題研究所が平成 25 年 4 月に公表した将来推計人口によると、平成 32 年（2020 年）の本県人口は 1,329 千人となり、さらに平成 52 年（2040 年）には、1,075 千人にまで減少するとされています。

県では平成 26 年 12 月に、人口問題総合戦略本部を立ち上げ、人口減少問題への取組みを強化しましたが、国においても「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、2060 年に 1 億人程度の人口を維持する「長期ビジョン」と地方創生に向けた 5 年間の「総合戦略」を決定し、地方を創生する取組みが本格化しており、国の施策を最大限に活用して実効性のある対策を展開するとともに、平成 27 年中に本県の人口ビジョンと総合戦略を策定し、人口減少対策と地域の活性化に取り組んでいきます。



2 計画の構成

- ・基本理念
産業・暮らし・人づくり・環境の4つの分野の将来像
- ・政策体系
基本政策、政策、施策に整理した政策体系
- ・重点的な取組み方針
計画を推進するための重点的な取組方針
- ・分野別計画
政策体系に基づく施策展開の方向や主な取組み
- ・地域別計画
地域ごとの特長を活かす視点で示した地域振興方策
- ・推進姿勢
計画を推進するための基本的な姿勢

3 計画の期間

平成 27 年度から平成 30 年度までの 4 年間

4 取組方針

施策の重点化を図りながら計画を推進するため、特に重点的に取り組む施策分野等を示す重点戦略方針を毎年度策定します。

また、各施策に設定した成果指標のうち、特に重点を置いて達成を目指す指標をターゲット指標とし、関係部局が連携し、その達成に向けて集中的に事業を展開していきます。

さらに、外部有識者等で構成する「愛媛の未来づくりプラン」推進懇話会により、施策の点検結果の検証や重点戦略方針の策定に係る意見交換などを行い、透明性の高い計画の推進とPDCAサイクルによる実効性を確保していきます。

5 今後のスケジュール

2月17日(火)	「愛媛の未来づくりプラン」推進懇話会
〃	トップミーティング
3月下旬	拡大部局長会(成案を付議)
〃	パブリックコメントの実施
5月	完成・公表

6 政策体系

基本政策

生き活きとした愛顔あふれる「えひめ」づくり
～次代を担う活力ある産業を“創る”～

政策1 活力ある産業づくり

- 1 地域に根ざした産業の振興
- 2 企業誘致・留置の推進
- 3 新産業の創出と産業構造の強化

政策2 産業を担う人づくり

- 4 若年者等の就職支援と産業人材力の強化
- 5 快適な労働環境の整備

政策3 農林水産業の振興

- 6 力強い農林水産業を支える担い手の確保
- 7 攻めの農林水産業を展開するための基盤整備
- 8 選ばれる産地を目指した技術開発の推進

政策4 愛媛ブランドの確立と営業展開

- 9 愛媛製品のブランド力向上
- 10 営業力の強化と市場拡大
- 11 愛媛の魅力発信力の強化

政策5 観光・交流の拡大

- 12 魅力ある観光地づくり
- 13 国際観光・交流の振興
- 14 自転車新文化の推進

政策6 交通ネットワークの整備

- 15 広域・高速交通ネットワークの整備
- 16 地域を結ぶ交通体系の整備

基本政策

やすらぎの愛顔あふれる「えひめ」づくり
～快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ”～

政策1 参画と協働による地域社会づくり

- 17 未来につなぐ協働のきずなづくり
- 18 男女共同参画社会づくり
- 19 人権が尊重される社会づくり

政策2 持続可能な活力ある地域づくり

- 20 地域を支える人材づくり
- 21 地域集落の機能強化

政策3 支え合う福祉社会づくり

- 22 高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿えひめの実現
- 23 障害者が安心して暮らせる共生社会づくり
- 24 地域福祉を支える環境づくり

政策4 健康づくりと医療体制の充実

- 25 生涯を通じた心と体の健康づくり
- 26 安全・安心で質の高い医療提供体制の充実
- 27 救急医療体制の充実

政策5 快適で魅力あるまちづくり

- 28 快適な暮らし空間の実現
- 29 ICT環境の整備

政策6 安全・安心な暮らしづくり

- 30 消費者の安全確保と生活衛生の向上
- 31 水資源の確保と節水型社会づくり
- 32 交通安全対策の推進
- 33 犯罪の起きにくい社会づくり
- 34 原子力発電所の安全・防災対策の強化

政策7 災害に強い県土づくり

- 35 防災・危機管理体制の充実
- 36 災害から県民を守る基盤の整備

基本政策

輝く^{えがお}愛顔あふれる「えひめ」づくり

～未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む”～

政策1 地域で取り組む子育て・子育て支援

- 37 安心して生み育てることができる環境づくり
- 38 子ども・若者の健全育成

政策2 未来を拓く子どもたちの育成

- 39 魅力ある教育環境の整備
- 40 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進
- 41 特別支援教育の充実
- 42 教職員の資質・能力の向上

政策3 生涯学習と文化の振興

- 43 学び合い高め合う生涯学習社会づくり
- 44 個性豊かな愛媛文化の創造と継承

政策4 スポーツ立県えひめの推進

- 45 スポーツを通じた豊かで活力ある地域づくり
- 46 競技スポーツの振興

基本政策

やさしい^{えがお}愛顔あふれる「えひめ」づくり

～調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”～

政策1 環境と調和した暮らしづくり

- 47 環境教育・学習の充実と環境保全活動の促進
- 48 地球温暖化対策の推進
- 49 環境への負荷が少ない循環型社会の構築
- 50 良好な生活環境の保全

政策2 自然と共生する社会の実現

- 51 豊かな自然環境と生物多様性の保全
- 52 魅力ある里地・里山・里海づくり

政策3 環境にやさしい産業の育成

- 53 再生可能エネルギー等の利用促進
- 54 低炭素ビジネスの振興
- 55 恵み豊かな森林（もり）づくり

推進姿勢

- 1 既存システムの改革に向けた大胆かつ果敢な“挑戦”
56 地方分権改革の実現に向けた挑戦
57 機能的な組織・業務体制の構築や効率的かつ効果的な行政運営に向けた挑戦
58 財政の健全化に向けた更なる挑戦
- 2 最大の効果を生み出すネットワーク構築に向けた“連携”
59 「チーム愛媛」の推進による基礎自治体との連携
60 多様な主体との協働・連携
61 広域的な視点による他地域との連携
- 3 新たな政策と戦略の“創造”
62 独自性の高い“愛媛発”の新たな政策の創造
63 新たな戦略の創造

チャレンジ

アクション

チームワーク

ボトムアップ

7 施策の方向性

産業分野

政策	施策の方向性
<p>活力ある産業づくり</p>	<p>1 地域に根ざした産業の振興 東・中・南予の産業立地の特性やニーズに基づく施策化。地域のニーズに応えながら自主的かつ意欲的に取り組む商店街の活性化を支援。</p> <p>2 企業誘致・留置の推進 3つのデータベースの活用。地域特性に応じた業種をターゲットにした積極的な企業誘致活動やトップセールスを実施。県内企業の県外への流出防止。</p> <p>3 新産業の創出と産業構造の強化 産学官連携や農商工連携による新商品・新サービスの開発や販路開拓などの新たなビジネス展開を支援。県内経済を牽引する成長産業を創出。</p>
<p>産業を担う人づくり</p>	<p>4 若年者等の就職支援と産業人材力の強化 中高生等にスゴ技企業の紹介を行うなど中小企業の魅力発信。きめ細かな就職支援。マッチングの促進。地域企業に求められる人材を育成。</p> <p>5 快適な労働環境の整備 「えひめ子育て応援企業」の認証や「えひめ子育て応援リーダー企業コンテスト」の実施等により仕事と家庭生活の両立が図られる職場環境づくりを促進。労使関係の安定化を支援。</p>
<p>農林水産業の振興</p>	<p>6 力強い農林水産業を支える担い手の確保 多様な担い手の確保・育成や組織化・法人化の支援。農林水産物の生産から加工、販売までを総合的に推進。経営の効率化を図るため、農業へのICT活用を推進。</p> <p>7 攻めの農林水産業を展開するための基盤整備 水田の大区画化・汎用化や樹園地の再編整備。森林の集約化・団地化の促進。生態系と調和した漁場の造成などの基盤整備。鳥獣害を受けにくい集落づくりの支援など鳥獣害防止対策を推進。</p> <p>8 選ばれる産地を目指した技術開発の推進 愛媛ブランド牛や新たな養殖魚種などのブランド産品や柑橘王国の維持・発展につながる新品種の開発。生産技術の開発・実用化。</p>
<p>愛媛ブランドの確立と営業展開</p>	<p>9 愛媛産品のブランド力向上 人口と情報が集中する大都市圏でのトップセールスやパブリシティ効果の高いイベントの実施など認知度向上のための取組みを展開。新たな商品づくりの支援。地産地消の取組みを推進。</p> <p>10 営業力の強化と市場拡大 県関与成約額100億円を目指して、県内企業のニーズを踏まえたフォローや国内外への販路拡大、情報発信強化するなど多様な営業戦略を展開。「愛媛」そのもののブランド化を図る。</p> <p>11 愛媛の魅力発信力の強化 みきゃんを活用したPR活動により、愛媛の認知度向上。物産フェアやスマホやSNSを活用したりピーターの確保等を通じて、新たな愛媛ファンづくりを積極的に展開。</p>
<p>観光・交流の拡大</p>	<p>12 魅力ある観光地づくり 東予エリアの山岳ルートなど観光資源の魅力を発掘・磨き上げ。サイクリングを活用した観光振興。南予全域を対象にした「えひめ南予博覧会(仮称)」の開催。</p> <p>13 国際観光・交流の振興 外国語による案内表記やボランティアガイドの育成などによる魅力ある国際観光地づくり。台湾とのチャーター便増や観光サミットの誘致。</p> <p>14 自転車新文化の推進 愛媛マルゴト自転車道整備、サイクルオアシス拡充、サイクリングガイド育成等おもてなし態勢整備。サイクリングの日制定、周期的な国際サイクリング大会開催等サイクリングに親しむ環境づくり。</p>
<p>交通ネットワークの整備</p>	<p>15 広域・高速交通ネットワークの整備 高速道路や地域高規格道路等の幹線道路網の着実な整備。港湾機能の強化。鉄道高速化や空港機能の充実。路面電車空港延伸の検討等、交通モード間のアクセス向上を推進。</p> <p>16 地域を結ぶ交通体系の整備 県内の道路ネットワークの充実。県民の生活の足として欠かせないローカル鉄道や過疎地域等のバス路線、離島航路の存続。</p>

政策	施策の方向性
参画と協働による地域社会づくり	<p>17 未来につなぐ協働のきずなづくり NPOや自治会、学校、公民館等を機能的につなげていく中間支援組織の強化や協働ネットワークの構築。人と人との絆を結びつける人材の育成。</p> <p>18 男女共同参画社会づくり 男女共同参画の視点に立った意識改革の推進。DV被害者対策の充実。女性の再就職や起業の支援。</p> <p>19 人権が尊重される社会づくり 県民が人権の意義や重要性について生涯にわたり継続した学習ができる環境の整備。</p>
持続可能な活力ある地域づくり	<p>20 地域を支える人材づくり 地域の新たな担い手として移住者を積極的に募集し、受け入れるため、受入体制や情報発信力を強化。本県へのU・Iターン就職の希望者と採用を希望する企業の支援。</p> <p>21 地域集落の機能強化 市町と連携しながら、住民主体の地域運営の仕組みづくりをサポートし、地域づくり協働体を構築。地域の実情に応じた生活交通ネットワークの維持・確保。</p>
支え合う福祉社会づくり	<p>22 高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿えひめの実現 スポーツサイクリングなどを通じた高齢者の生きがいづくりを推進。「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取組みを進め、地域全体で高齢者を支える社会づくりを推進。</p> <p>23 障害者が安心して暮らせる共生社会づくり 質の高い障害福祉サービスの提供や障害者が安心して暮らせる環境づくり。スポレク活動や文化芸術活動の振興。個々の特性に配慮した就労支援。</p> <p>24 地域福祉を支える環境づくり 生活困窮者に対する支援。地域福祉を担う人材の育成・定着化。社会福祉施設等の整備を促進するなど、地域のニーズに応じた福祉コミュニティの形成。</p>
健康づくりと医療体制の充実	<p>25 生涯を通じた心と体の健康づくり 生涯を通じた生活習慣病等の疾病予防の取組み強化。がん検査受診率向上や患者の視点に立った総合的ながん対策の推進。新型インフルエンザなどの感染症の予防とまん延の防止。</p> <p>26 安全・安心で質の高い医療提供体制の充実 愛媛大学や関係機関等と連携した医師等確保対策を強力に推進。将来のあるべき姿を見据えた地域医療提供体制の整備。</p> <p>27 救急医療体制の充実 ドクターヘリの導入を検討するなど重層的な救急医療体制を構築。ICTを活用した搬送システムの構築。地域の実情に応じた災害医療体制の整備。</p>
快適で魅力あるまちづくり	<p>28 快適な暮らし空間の実現 街路や公園整備。住宅の耐震化の促進。子育て世帯向け住宅の確保。老朽危険空家の除却による良質な住宅の維持確保。JR松山駅付近の立体交差化など都市機能の充実したまちづくり。</p> <p>29 ICT環境の整備 えひめFreeWi Fiの整備拡大など地域の情報収集や情報発信力の強化。地域のICT利活用を促進する人材を育成。医療福祉や防災防犯などの分野での利活用を促進。</p>
安全・安心な暮らしづくり	<p>30 消費者の安全確保と生活衛生の向上 消費生活に関する相談体制の充実。愛媛県HACCP制度の普及促進や導入支援による食の安全・安心の確保。生活衛生関係営業者の経営健全化や動物愛護・管理の推進。</p> <p>31 水資源の確保と節水型社会づくり 森林・農地が持つ水源かん養機能の保全や既存の水資源の有効活用。節水型社会づくりの推進。</p> <p>32 交通安全対策の推進 関係機関・団体と連携した広報啓発活動や交通安全教育。高齢者に重点を置いた対策の推進。交通指導取締りの強化。交通環境の整備。</p> <p>33 犯罪の起きにくい社会づくり 自主防犯活動や犯罪の防止に配慮した環境整備の促進。警察基盤の強化。犯罪の抑止と検挙による「県民を守る」積極的な活動。</p> <p>34 原子力発電所の安全・防災対策の強化 伊方原子力発電所の安全対策の一層の強化。県民への迅速かつ正確な情報提供。実践的な訓練等による避難計画の実行性向上。国・市町等との連携強化による防災対策の充実。</p>
災害に強い県土づくり	<p>35 防災・危機管理体制の充実 東日本大震災の教訓や県地震被害想定調査を踏まえた防災・減災対策。土砂災害警戒区域の基礎調査を概ね5年以内に完了。県民の早期避難につながるソフト対策を推進。</p> <p>36 災害から県民を守る基盤の整備 公共施設の耐震化をはじめとする社会基盤の防災・減災対策を計画的に実施。社会資本の戦略的な維持管理・更新。災害発生時の企業等との連携体制の強化。</p>

人づくり分野

政策	施策の方向性
地域で取り組む子育て・子育て支援	<p>37 安心して生み育てることができる環境づくり 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供。スマホアプリ等を活用した「妊娠・出産・子育て(仕事)のワンストップ相談」を構築。社会全体で子育てを総合的に支援。</p> <p>38 子ども・若者の健全育成 いじめの防止等に関する児童生徒の主体的な活動を支援し未然防止対策を推進。県民総ぐるみで子ども・若者の健やかな成長と自立を見守り、育てる取組みを推進。</p>
未来を拓く子どもたちの育成	<p>39 魅力ある教育環境の整備 登下校時の見守り強化など、地域ぐるみの学校安全対策。生徒の実態等に応じた教育課程の工夫。指導改善などにより特色ある学校づくり。</p> <p>40 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進 子どもたちの確かな学力の定着と向上。キャリア教育や道徳教育の推進。「えひめ子どもスポーツITスタジアム」の開催。たくましい人間へと成長できる教育を推進。</p> <p>41 特別支援教育の充実 障害のある子どもたちが快適に学ぶことができる学校環境づくり。医療・福祉・教育等関係者の連携による相談支援。</p> <p>42 教職員の資質・能力の向上 子どもたちにとって楽しくよく分かる授業を目指して、教職員一人ひとりの知識・能力・資質の向上。教職員が安心して働くことができる環境づくり。</p>
生涯学習と文化の振興	<p>43 学び合い高め合う生涯学習社会づくり 生涯学習を支える人材育成。公民館や図書館における学習拠点としての機能を拡充するなど、すべての県民が、個人の目標と意欲に応じて学び続けられる場の提供。</p> <p>44 個性豊かな愛媛文化の創造と継承 優れた芸術に触れる機会や、様々な文化活動を体験する機会の充実。県文化・教育施設の利活用や文化財の保存・活用の推進。</p>
スポーツ立県えひめの推進	<p>45 スポーツを通じた豊かで活力ある地域づくり 県民誰もが、身近にスポーツに親しむことができる環境整備。地域密着型のプロスポーツチームの活動を支援。2020東京五輪の事前合宿誘致等。</p> <p>46 競技スポーツの振興 トップアスリートの発掘、育成・強化や指導者の養成・確保など、競技力の向上。えひめ国体・えひめ大会の成功に向けた本格的な準備と、国体を契機とした「スポーツ立県えひめ」の実現。</p>

環境分野

政策	施策の方向性
環境と調和した暮らしづくり	<p>47 環境教育・学習の充実と環境保全活動の促進 学校や地域等における環境教育・学習を推進。環境活動リーダー等のスキルアップを支援。</p> <p>48 地球温暖化対策の推進 通勤等における公共交通機関や自転車の利用拡大、クールシェア、ウォームシェア等、エネルギー消費の少ない生活スタイルへの転換を促進。省エネ診断等による事業所の省エネ化を支援。</p> <p>49 環境への負荷が少ない循環型社会の構築 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進や、リサイクル製品の優良モデル認定などによる循環型社会ビジネスの育成・支援。</p> <p>50 良好な生活環境の保全 各種環境基準の達成・維持や監視体制の充実。県民への情報提供。地域の実情や特性に応じた公共下水道や農業集落排水、合併処理浄化槽等の計画的な整備。</p>
自然と共生する社会の実現	<p>51 豊かな自然環境と生物多様性の保全 自然公園等老朽化施設の維持修繕。エコツーリズムの情報発信や人材育成による普及促進及び石鎚山系の魅力創生。生物多様性えひめ戦略に基づく生物多様性保全の調査・研究等。</p> <p>52 魅力ある里地・里山・里海づくり 農山漁村の美しい景観や豊かな自然環境の保全を図り、文化や伝統の保全・伝承。集落道の整備や排水対策など、集落環境の整備を進め、定住促進のための基盤づくり。</p>
環境にやさしい産業の育成	<p>53 再生可能エネルギー等の利用促進 国が示すこととしている最適な電源構成等を踏まえ、県地域新エネルギービジョンを見直す。小水力発電や各種バイオマス発電など再生可能エネルギーの導入促進。</p> <p>54 低炭素ビジネスの振興 今後成長が見込まれる低炭素ビジネスに積極的に取り組む事業者を支援・育成。中小企業のCO2排出削減とCO2取引支援を促進。</p> <p>55 恵み豊かな森林(もり)づくり 森林の整備から加工、流通までを総合的に推進する林業躍進プロジェクト。援すぎ・援ひのきのプロモーション活動強化やCLTの普及促進を通じて県産材の需要拡大。</p>